

ボランティアコーディネーター養成研修会を開催しました！

11月6日（金）に第1回ボランティアコーディネーター養成研修会を開催しました。

この研修会は、これまでの経験や学習の成果を生かしたいボランティアが、教育支援活動に参加しやすい環境をつくるために、ボランティアを受け入れる側（学校や地域の教育団体、グループなど）との連絡調整を行う役割の方（コーディネーター）を養成するものです。



今年度は一般の方に加え、教育委員会や教員など13名の参加がありました。感染症予防としてマスク着用や手指消毒、シールドの使用などの対策をとり、自分たちがそれぞれの立場で子どもたちのためにできそうなことをグループで協議しました。各グループで「できそう」と合意したことを発表し、それらを「できる」「やろう」につなごうとする意欲や思いが伝わってきました。

同日、併せて社会教育主事・有資格者ステップアップ研修を開催しました。コミュニティ・スクールを導入している高根沢町立中央小学校の事例発表とインタビューフォーラムから、学校と地域が協働する必要性を考えました。



学校と地域が連携・協働するポイントについて、講師への質問も活発になされ、参加者の意欲の高さを感じました。「様々な人との縁や絆が大切だと改めて感じた」「コーディネーターと学校の信頼関係の大切さを痛感した」などの感想が寄せられ、学校と地域をつなぐ意識が高まった様子でした。

家庭教育考える研修会（10/15） 会場：真岡市民会館 “いちごホール”

講話「子供が元気に育つ地域づくり ～私たちにできること～」

講師 特定非営利活動法人ハンズオン埼玉理事 西川 正 氏

西川先生の講話では、遊ぶことをとおして子育て支援を考ええる具体例として、自らがやっている地域活動の写真や映像を交えて話していただきました。また、携帯電話や付箋を活用した参加型ワークを行うことで、素早く、幅広く意見を収集し、会場は和やかな一体感に包まれました。



子どもが失敗しながら学ぶ場の大切さや、主体性を伸ばすための大人のかかわりや環境づくりについて学ぶ、とても貴重な機会となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの日常生活は大きく変わっています。ふれあい学習課では、このような中でも今できることは何か、どうすればできるかを考え、工夫して取り組んでまいります。

「ふれあい学習」に関する各種情報をお待ちしています。生涯学習やボランティア活動、子どものための地域活動、家庭教育支援等の情報をお寄せください。

芳賀教育事務所ふれあい学習課 ☎321-4305 真岡市荒町116-1

TEL 0285-82-3324 Fax 0285-82-5140 E-mail haga-leo-fureai@pref.tochigi.lg.jp

文化事業の紹介『巡回伝統芸能公演』

文化庁では、「文化芸術による子供の育成事業」を実施しています。これは、児童生徒が伝統芸能を直接鑑賞することとおして文化芸術への関心を高めるとともに豊かな情操を育んでいくものです。七井小学校での「落語」の公演では、プロの噺家の話術に引き込まれ、会場に笑いがあふれました。



頑張る学校・地域！応援プロジェクト

今年度から、栃木県では各地区で「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の推進に向けて、当事業を行っています。芳賀地区では真岡東中学校・田野小学校がモデル校となり、組織づくりや活動を行っています。2月に成果発表を行います。詳しくは後日案内いたします。



各市町での「ふれあい学習」の活動を紹介します！

【茂木町】 ふるさと運動学習

茂木町では、町の未来を担う子ども達が、町内の歴史や自然を学び、人と人のふれあいの大切さを育むことを目的に、町内小学校の5・6年生を対象に「ふるさと運動学習」を実施しています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、実施時期やプログラムの内容を変更しての募集となりましたが、22名の申込みがありました。

主な活動内容は、町内の寺社仏閣をめぐる「ふるさとめぐり」、里山で採れる木の実や草花を材料にした「リースづくり」、那珂川を遡上したサケの卵を育て、放流する「サケの生態観察教室」です。

将来も、ふるさと「もてぎ」を好きでいてもらえるよう、今後も茂木町の良さを活かした事業を実施していきます。



【市貝町】 子どもまつり

「子どもまつり」は町子ども会育成会連絡協議会が主催する事業で、今年で19回目を迎えました。JLCも運営に参加し、ステージイベントやゲームの進行など、楽しみながらイベントを盛り上げてくれています。

今年は新型コロナウイルス感染症のため開催が危ぶまれましたが、ゲームの内容を精査するとともに、マスク着用や器具の消毒等の感染予防対策を徹底して無事に開催することができました。

オープニングには町のキャラクター「サシバのサッチャン」も登場。輪投げや空き缶立て、ストラックアウトなど6種類のゲームが用意された会場には、子どもたちの笑顔があふれました。



【芳賀町】 『寺子屋はがまる』の開催

新型コロナウイルス感染症対策で学校が休校となる中、地域のかで子どもたちを支援しようと、急きょ事業を立ち上げました。芳賀町の学校に関わりのある退職教員をボランティア講師



に迎えて学習支援を行い、さらに高校生ボランティアのJLCが受付や休憩時間における子どもたちの見守りを行っています。

子どもたちには「寺子屋はがまる」の中で、学習することの楽しさを感じてもらえるよう事業の運営をしていきます。